

このページは全員提出・記入必要

- ・前年の収入
- ・収入に記載した金額の証明書類が必要
(奨学金案内22～25ページ参照)

前年

前年用 (表)

記入例 収入計算書[前年 (2022 年 1 月～ 12 月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み(「スカラネット」への入力)を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付(父母等からの給付額がある場合は裏面に記載)いたします。

○進学予定学校名 東京工業 大学 ●●学院 =研究科=

- 進学予定課程 (該当の数字に○) :
- 1. 修士・博士前期課程／専門職大学院課程 (法科大学院を除く)
 - 2. 博士後期課程
 - 3. 博士医・歯・薬 (4年制) ・獣医学課程
 - 4. 法科大学院

○申込者氏名 東工 太郎

[各項目 1 万円未満切捨て]

前年(2022年1月～12月)の収入額		
	収入項目	収入額 (A)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 0 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 0 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) 60 万円
	アルバイト 2	(年額) 0 万円
	アルバイト 3	(年額) 0 万円
父母等からの給付額 (★)		(年額) 101 万円
奨学金		(年額) 54 万円
その他の収入(利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)		(年額) 0 万円
収入額合計 (※)		(年額) 215 万円

[記入時の注意事項]
○複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入 (アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入)。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

[重要]
収入額合計は、0 万円とにならないよう記入してください。

「父母等から支払ってもらっている授業料・家賃・光熱費」も「父母等からの仕送り」も全てふくめて「父母等からの給付額」としてカウントします (奨学金案内24ページ参照)。証明として、裏面の「父母からの給付額について」に給付者である父母等の自署・同額を記入してもらってください。

[収入欄に記入した収入証明書を裏面に貼付]

証明書類貼付欄

〔収入に関する証明書のみの貼付〕

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部2点を留めてください。

<全員必須>

奨学金案内22～25ページを参考に「提出時の前年」1～12月の収入額の証明書類を上部2点（1点でも可）ホチキス留め。

〔例〕

- ・アルバイト：源泉徴収票又は給与明細書の写し、給与支払証明書等
- ・奨学金の証明：受給証明書や採用通知書等、金額及び受給期間がわかるもの
- ・父母等からの給付：下欄を記入のうえ、**父母等に自署をもらう**

※その他、項目ごとの詳しい証明書類の例は奨学金案内22～25ページを参照してください。

※証明書類から推算（年額の計算など）の必要がある場合は、余白に計算式を記入してください。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 東工 一郎 ○申込者との関係（続柄） 父

(2022年)

1月	7.5万 円	7月	8.5万 円
2月	8.5万	8月	8.5万
3月	8.5万	9月	8.5万
4月	8.5万	10月	8.5万
5月	8.5万	11月	8.5万
6月	8.5万	12月	8.5万
		合計	101万 円

※注意※
申請者本人ではなく
父母等の自署、記入
が必要です。

スカラネット入力用合計金額 101 万円

スカラネット入力時の単位は「万円」です（1万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700 円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30 万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。

このページは全員提出必要

- ・収入の多少の増減は「変動なし」と見なし、『変動はありません』に○をつけて提出してください
- ・勤務先の変更や、アルバイト数に変更がある場合は、『変動します』に○をつけ、収入金額を記入し、証明書類をつけて提出してください

本年
見込

変動ある場合のみ

収入計算書[本年見込 (2023 年 1 月～12 月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書（但し前年の収入から変動のある証明書のみ）を裏面に貼付（父母等からの

変動なしの場合は、上に○をつけ、提出してください。金額等の記入は不要です。

【収入の状況】（以下の該当する方に、「○」を付けてください。）

●	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動はありません</u> 。	⇒	このページは記入不要。
	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動します</u> ので、以下のとおり報告します。	⇒	両ページの各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目は、前年と同じ金額を記入）。

[各項目 1 万円未満切捨て]

本年(2023年1月～12月)の 収入見込額		
	収入項目	収入額 (B)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 0 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 0 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) 10 万円
	アルバイト 2	(年額) 0 万円
	アルバイト 3	(年額) 0 万円
父母等からの給付額 (★)		(年額) 120 万円
奨学金 (申込中の奨学金は除く)		(年額) 0 万円
・その他の収入(利子・配当・不動産・ 年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)		(年額) 0 万円
収入見込額 合計 (※)		(年額) 130 万円

「変動」とは、別の勤務先が変わったり、アルバイトの数が変更になった場合を指します。収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。

【記入時の注意事項】

○複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

【重要】

収入額合計は、0 万円とならないよう記入してください。

**変動ありの場合は、裏面に
変動した金額の証明書類を
貼付してください**



本年收入見込額を「0 円」とすると、前年の収入額合計で審査されます。

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「本年」は2023年となります。

[前年の収入から変動のある証明書のみ裏面に貼付]

本年見込の収入について、前年と変動がない場合、
この面の記入は必要ありません。

本年見込
裏

<収入見込に変動がある項目のみ証明書類の貼付が必要>

※奨学金案内22～25ページを参考に証明書類を上部2点
（1点でも可）ホチキス留め。

- ・父母等からの給付：下欄を記入のうえ、**父母等に自署をもらう**
- ・アルバイト収入に変動がある場合
このページの中央の余白に計算式を記入してください。
 $\text{既受給収入額} \div \text{収入のあった月数} \times 12 = \text{収入金額}$

〔例〕

- ・1月～9月に18万円のアルバイト収入の振込があり、12月までに同様の収入が見込まれる場合
 $\Rightarrow 18\text{万円} \div 9\text{か月} \times 12 = 24\text{万円}$
- ・2月からアルバイトを始め、3月～9月に14万円のアルバイト収入の振込があり、12月まで同額の収入が見込まれる場合
 $\Rightarrow 14\text{万円} \div 7\text{か月（3月～9月）} \times 9\text{か月（3月～12月）} = 18\text{万円}$

※あくまで収入のあった月の金額をもとに計算します。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 東工 一郎 ○申込者との関係（続柄） 父

(2023年)

1月	6万 円	7月	6万 円
2月	6万	8月	6万
3月	6万	9月	6万
4月	30万	10月	30万
5月	6万	11月	6万
6月	6万	12月	6万
合計		120万 円	

※注意※
申請者本人ではなく
父母等の自署、記入
が必要です。

スカラネット入力用合計金額 120 万円

スカラネット入力時の単位は「万円」です（1万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700 円 $\Rightarrow$ スカラネット入力用合計金額 30 万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。